

小林 沙羅

Sara Kobayashi (soprano)

小林沙羅オフィシャル・ホームページ <http://sarakobayashi.com/>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。2010年度野村財団奨学生、2011年度文化庁新進芸術家在外研修員。2014年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2010年から2015年にはウィーンとローマにて研修と演奏活動を行う。17年第27回出光音楽賞受賞。

2006年に『バスティアンとバスティエンヌ』バスティエンヌでデビュー後、東京芸術劇場シアターオペラシリーズに『トゥーランドット』リユー、『メリーウィドウ』ヴァランシエンヌ、日生劇場『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル、兵庫県立芸術文化センター『こうもり』アデーレ等、多くのオペラに出演。千住明・黛まどかの『万葉集』、三枝成彰『KAMIKAZE』愛子など、多くの新作オペラ初演を務める。2012年ブルガリア国立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ役で欧州デビュー、その後『愛の妙薬』アディーナ役でも出演するなど海外へも活動の幅を広げている。

2014年には新国立劇場シーズンオープニング公演新制作『パルジファル』花の乙女役に出演。2015年には野田秀樹演出『フィガロの結婚』スザンナ役で全国10都市14公演に出演、その歌唱力に加え演技力も高く評価され好評を博す。2017年『カルメン』ミカエラ役で藤原歌劇団にデビュー。同年10月には『狂おしき真夏の一日』エミコ役（三枝成彰新作）に出演、11月には『ポッペアの戴冠』アモーレ役ヴァレット役で初のバロックオペラ出演を果たした。

2018年には兵庫県立芸術文化センター『魔弾の射手』エンヒェン役で出演。2019年明けには全国共同制作オペラ『ドン・ジョバンニ』にも出演。

また、2016年には山田和樹指揮日本フィルマーラーチクルス「交響曲第4番」にもソリストとして出演しCD化。その他にもフォーレ「レクイエム」、ヘンデル「メサイヤ」、モーツァルト「歌え喜べ幸いなる魂よ」等のソリストとしても多くのオーケストラと共演。

2014年に日本コロムビアよりデビューCDアルバム「花のしらべ」を、2016年にはセカンドアルバムとなる「この世でいちばん優しい歌」をリリース。

日本声楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。

(2019年1月現在、800字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

小林 沙羅 Sara Kobayashi (soprano)

小林沙羅オフィシャル・ホームページ <http://sarakobayashi.com/>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。2010年度野村財団奨学生、2011年度文化庁新進芸術家在外研修員。2014年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2010年から2015年にはウィーンとローマにて研修と演奏活動を行う。2017年第27回出光音楽賞受賞。

2006年に『バスティアンとバスティエンヌ』バスティエンヌでデビュー後、東京芸術劇場シアターオペラシリーズに度々出演、日生劇場2009、2013年『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル、兵庫県立芸術文化センター2011年『こうもり』アデーレなどにも出演。千住明・松本隆の『隅田川』狂女、三枝成彰『KAMIKAZE』愛子など、多くの新作オペラ初演を務める。2012年ブルガリア国立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ役で欧州デビュー、同歌劇場『愛の妙薬』プレミエ公演にアディーナ役で出演など海外へも活動の幅を広げている。

2014年10月には14-15新国立劇場シーズンオープニング公演新制作「パルジファル」花の乙女役に出演。2015年5月から11月にかけて野田秀樹演出、井上道義指揮、オペラ「フィガロの結婚」スザンナ役で全国10都市14公演に出演、好評を博す。2017年には「カルメン」ミカエラ役で藤原歌劇団への初出演を果たし、同年10月三枝成彰新作オペラ「狂おしき真夏の一日」に出演。2018年には兵庫県立芸術文化センター『魔弾の射手』エンヒェン役で出演。2019年明けには全国共同制作オペラ『ドン・ジョバンニ』にも出演。

また、フォーレ「レクイエム」、ヘンデル「メサイヤ」等で多くのオーケストラと共演。16年1月には山田和樹指揮日本フィルマーラーチクルス「交響曲第4番」にも出演、CD化。

2014年に日本コロムビアよりデビューCDアルバム「花のしらべ」をリリース。16年11月にはセカンドアルバムとなる「この世でいちばん優しい歌」をリリース。

日本声楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。

(2019年1月現在、700字)

小林 沙羅 Sara Kobayashi (soprano)

小林沙羅オフィシャル・ホームページ <http://sarakobayashi.com/>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

東京藝術大学及び同大学院修了。2010年度野村財団奨学生、2011年度文化庁新進芸術家在外研修員。2014年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2010～15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。2006年『バスティアンとバスティエンヌ』でデビュー後、東京芸術劇場『トゥーランドット』リュウ、兵庫県立芸術文化センター『こうもり』アデーレ／『魔弾の射手』エンヒェン、新国立劇場『パルジファル』花の乙女等に出演。2012年ブルガリア国立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタで欧州デビュー、海外へも活動の幅を広げる。2015年野田秀樹演出『フィガロの結婚』にスザンナ役で出演し好評を博す。2017年『カルメン』ミカエラで藤原歌劇団に初出演を果たした。2019年には全国共同制作オペラ『ドン・ジョバンニ』にも出演。2016年秋セカンドCD「この世でいちばん優しい歌」をリリース。2017年第27回出光音楽賞受賞。日本声楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。

(2019年1月現在、400字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

Sara Kobayashi (Soprano)

<http://sarakobayashi.com/>

Sara Kobayashi made her debut in 2006 in the role of Bastienne in *Bastien und Bastienne* (conducted by Michiyoshi Inoue).

Since then she has appeared in numerous opera roles including the Geisha in *Iris* (2008), Liù in *Turandot* (2009), and Adele in *Die Fledermaus* (2014) in the okyo Metropolitan Theatre's "Theatre Opera Series"; Gretel in *Hänsel und Gretel* at Nissay Theatre (2009 and 2013); and Adele in *Die Fledermaus* (conducted by Yutaka Sado) at Hyogo Performing Arts Center (2011). She has participated in the premieres of many new operas, performing in the roles of the Madwoman in *Sumidagawa* by Akira Senju and Takashi Matsumoto, Aiko in *Kamikaze* by Shigeaki Saegusa (conducted by Naoto Otomo), and Murasaki in *The Tale of Genji* by Reiko Ninomiya and Nozomu Hayashi. Kobayashi is also expanding her international career. In 2012, she made her European debut as Laretta in *Gianni Schicchi* at the Sofia National Opera, and appeared at the same theatre as Adina in a premiere production of *L'elisir d'amore*. She performed as soprano soloist in a performance of Beethoven's 9th Symphony at the Musikverein in Vienna. She also won 2nd Prize at the Oscar Straus Operetta Competition. In 2013, Kobayashi performed in the NHK New Year Opera Concert. In March 2014, she released her debut CD album on Nippon Columbia. In the New National Theatre's 2014-15 season opening performance, she sang the role of Flower Maiden in a new production of *Parsifal*.

In 2015, on a tour of Japan from May to October, she gave outstanding performances as Susanna in *The Marriage of Figaro* produced by Hideki Noda and conducted by Michiyoshi Inoue, and served as soloist in Mahler's Symphony No. 4 under the baton of Gustavo Gimeno in July.

(April 2016)

2015/16 season only. Please contact Japan Arts if you wish to edit this biography.